

南薩地域 循環型社会形成推進地域計画

当初 平成29年12月20日  
変更 令和 2年 2月10日

南薩地区衛生管理組合  
枕崎市  
日置市  
南さつま市  
南九州市

## 【 目 次 】

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項 .....	1
(1) 対象地域.....	1
(2) 計画期間.....	1
(3) 基本的な方向 .....	1
(4) 広域処理の検討状況.....	2
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標 .....	2
(1) 一般廃棄物等の処理の現状.....	2
(2) 生活排水の処理の現状.....	3
(3) 一般廃棄物等の処理の目標.....	4
(4) 生活排水処理の目標.....	5
3. 施策の内容 .....	6
(1) 発生抑制、再使用の推進 .....	6
(2) 処理体制.....	7
(3) 処理施設等の整備 .....	9
(4) 施設整備に関する計画支援事業 .....	9
(5) その他の施策 .....	10
4. 計画のフォローアップと事後評価.....	10
(1) 計画のフォローアップ.....	10
(2) 事後評価及び計画の見直し.....	10

### 【添付資料】

- 様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1
- 様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2
- 様式3 地域の循環型社会形成推進に向けた施策の一覧

- 参考資料様式1 施設概要（リサイクル施設系）
- 参考資料様式2 施設概要（エネルギー回収施設系）
- 参考資料様式7 計画支援概要

- 添付資料1 地域と施設配置
- 添付資料2 現有処理施設の概要
- 添付資料3 分別区分説明資料
- 添付資料4 人口及びごみ排出量等に関するトレンドグラフ等

## 1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町村名：枕崎市、日置市、南さつま市、南九州市（知覧町及び川辺町の区域）

※日置市のうち、東市来町の区域は焼却のみ対象

- ・半島振興法に基づく半島振興対策実施地域
- ・過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域

面積：858.92 km<sup>2</sup>

人口：130,423 人（平成 29 年 3 月 31 日現在：住民基本台帳人口）

（内訳）

市町村名	面積	人口
枕崎市	74.78 Km <sup>2</sup>	21,960 人
日置市	253.01 Km <sup>2</sup>	49,282 人
南さつま市	283.59 Km <sup>2</sup>	34,873 人
南九州市（知覧町及び川辺町の区域）	247.54 Km <sup>2</sup>	24,308 人
合計	858.92 Km <sup>2</sup>	130,423 人

### (2) 計画期間

本計画は、平成 30 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの 6 年間を計画期間とし、目標年度は令和 6 年度とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

南薩地域は、鹿児島県の薩摩半島西部に位置しており、北はいちき串木野市・薩摩川内市、東は鹿児島市・指宿市、南西は東シナ海に臨んでいる。

本地域の漁業・農業等の状況は、枕崎市でかつお漁やかつお節の生産が盛んで、南九州市でお茶の生産や鶏卵・豚の畜産が盛んである。観光の状況としては、多くの観光客が知覧町の武家屋敷や特攻平和会館等の観光施設を訪れている。

事業系ごみの発生量は、前述の区域が比較的多い傾向にあることから、その発生抑制及び再生利用の推進を図る。生活系ごみについては、近年ごみの発生抑制が進んでいる一方で、資源ごみの回収量が低下してきていることから、ごみの分別の徹底や処理施設の整備等による資源ごみの回収量の増加を図り、最終処分量の削減を目指す。

一般廃棄物の処理については、現在 3 箇所のごみ処理施設で行っているが、施設の老朽化が進んでいることから、施設を 1 箇所に集約し、処理の効率化を図る。

#### (4) 広域処理の検討状況

本地域は、平成 11 年 3 月に策定された「鹿児島県ごみ処理広域化計画」に沿って広域化を図っており、当面の間は現在の枠組みで処理を行っていく。

## 2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 28 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 1 のとおりである。

総排出量は 42,705 トンであり、再生利用される「総資源化量」は 5,718 トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量））は 13.4%である。

中間処理による減量化量は 32,452 トンであり、排出量の 76.0%が減量化されている。また、排出量の 10.6%に当たる 4,535 トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 36,219 トンである。焼却施設のうち、「内鍋清掃センター」では、温水の場内利用を行っている。

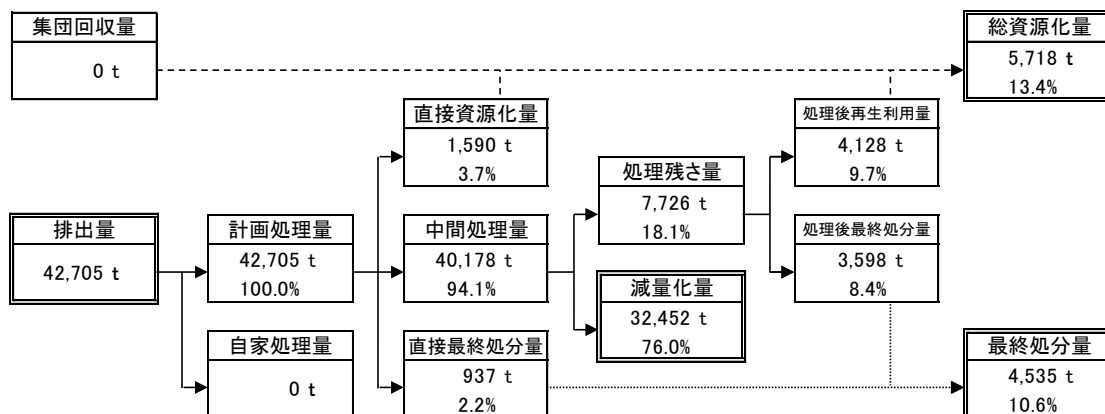


図 1 一般廃棄物の処理状況フロー（平成 28 年度）

## (2) 生活排水の処理の現状

平成 28 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図 2 のとおりである。  
 生活排水処理対象人口は、全体で 118,781 人であり、水洗化人口は 83,248 人、汚水衛生処理率 70.1%である。

し尿発生量は 17,620 kl/年、浄化槽汚泥発生量は、44,340 kl/年であり、処理・処分量 (=収集・運搬量) は 61,960 kl/年である。

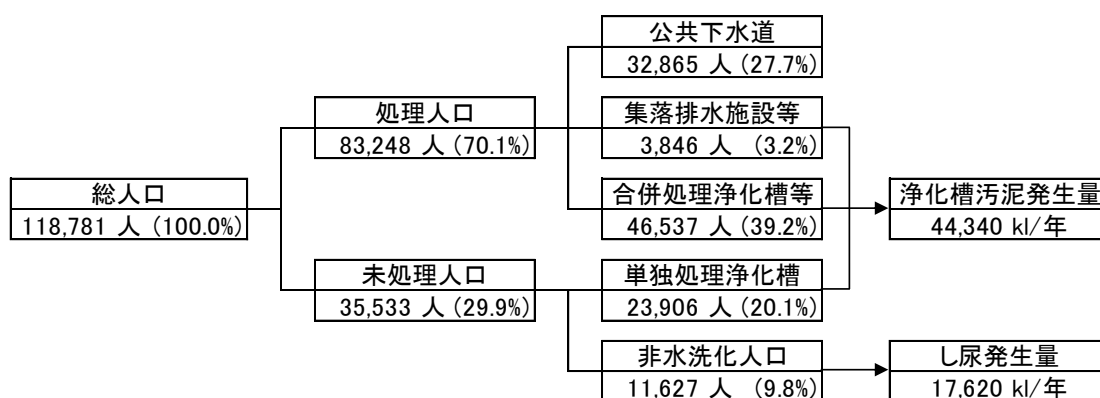


図 2 生活排水の処理状況フロー (平成 28 年度)

### (3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1及び図3のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現状 (割合 <sup>※1</sup> ) (平成28年度)	目標 (割合 <sup>※1</sup> ) (令和6年度)
排出量	事業系	総排出量	14,939 t
		1事業所当たりの排出量 <sup>※2</sup>	2.2 t/事業所
	生活系	総排出量	27,766 t
		1人当たりの排出量 <sup>※3</sup>	191 kg/人
	合計	事業系生活系排出量合計	42,705 t
再生利用	直接資源化量	1,590 t (3.7%)	1,445 t (3.7%)
	総資源化量	5,718 t (13.4%)	7,073 t (18.2%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	—	検討中
最終処分量	埋立最終処分量	4,535 t (10.6%)	1,432 t (3.7%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)  
(但し、事業所数は平成26年経済センサス基礎調査結果を基に、人口比例するとして推計)

※3 (1人当たりの排出量) = {(生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く)〔単位:t〕

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和〔単位:t〕

エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量〔単位:MWh〕

最終処分量：埋め立て処分された量〔単位:t〕

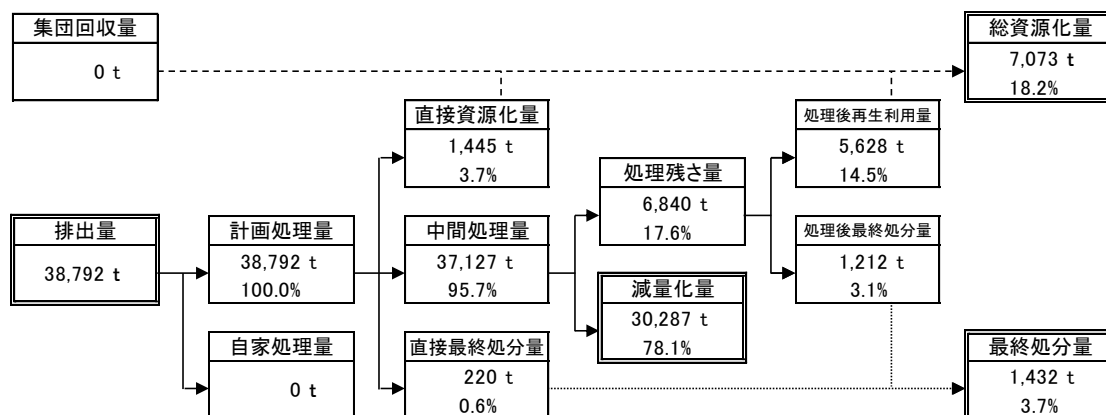


図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー (令和6年度)

(4) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表 2 及び図 4 に掲げる目標のとおり、進めていくものとする。

表 2 生活排水処理に関する現状と目標

		平成 28 年度実績	令和 6 年度目標
処理形態別人口	公共下水道	32,865 人 (27.7%)	36,375 人 (33.2%)
	集落排水施設等	3,846 人 (3.2%)	4,146 人 (3.8%)
	合併処理浄化槽等	46,537 人 (39.2%)	33,236 人 (30.4%)
	未処理人口	35,533 人 (29.9%)	35,688 人 (32.6%)
	合計	118,781 人	109,445 人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	17,620 kl/年	16,043 kl /年
	浄化槽汚泥量	44,340 kl /年	48,407 kl /年
	合計	61,960 kl /年	64,450 kl /年

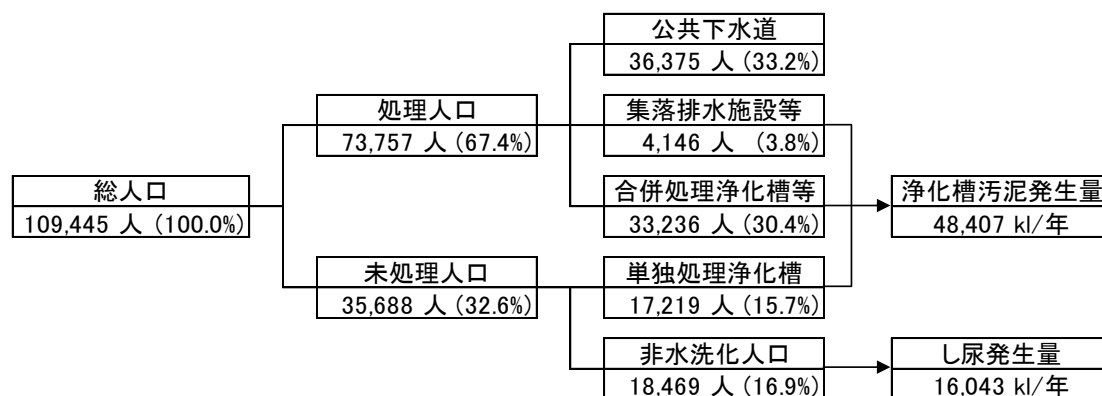


図 4 目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和 6 年度）

### 3. 施策の内容

#### (1) 発生抑制、再使用の推進

##### ア. ごみ処理手数料の見直し

組合の一般廃棄物処理施設へごみを直接搬入する場合には、搬入量に応じた手数料の徴収を行っている。一方、家庭からの収集ごみについては、構成市で指定ごみ袋制度等を導入しているが、処理手数料としての徴収は実施していない状況である。

今後、受益者負担の観点及びごみの減量化に対する意識の向上や、ごみの分別の徹底を図るための方策の一つとして、構成市と連携を図りながら、必要に応じて手数料の見直しを行うとともに、県内及び近隣自治体の動向等を踏まえて、収集ごみの有料化等に関する調査・検討を進めていくこととする。

##### イ. 環境教育、普及啓発

住民及び事業者に対して、広報紙等を活用し、ごみの分別排出方法、ごみの排出量・資源化の現状などに関する情報提供を行う。ごみの減量化に関する社会意識を育むため、学校や地域社会の場において、副読本の活用等を通じた環境教育に積極的に取り組む。

また、地域住民で構成する衛生自治団体連合会と協働し、分別区分の普及啓発や資源回収率の向上などに取り組む。

##### ウ. マイバッグ運動・レジ袋対策

地域内のスーパーマーケット等の小売店と協力しながら行っている包装の簡易化、マイバッグ運動（買物袋の持参運動）等を支援する。

##### エ. 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、構成市における次の啓発活動を支援する。

- ・ 広報・チラシ・パンフレットの配布等による広報活動の実施
- ・ 合併処理浄化槽の普及啓発活動の展開
- ・ 単独処理浄化槽からの転換の推進
- ・ 集合処理施設への接続推進



## (2) 処理体制

### ア. 生活系ごみの処理体制の現状と今後

生活系ごみの分別区分及び処理方法については、表3のとおりである。

南薩地域のうち、枕崎市、南さつま市及び南九州市（知覧町及び川辺町の区域）で排出された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみについては、南薩地区衛生管理組合が所有する内鍋清掃センター及び川辺清掃センターにおいて処理並びに資源回収を行っている。また、日置市で排出された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみについては、日置市が所有する日置市クリーン・リサイクルセンターにおいて処理並びに資源回収を行っている。

最も新しい日置市クリーン・リサイクルセンターにおいても稼働後17年目を迎えていることから、令和6年度稼働開始を目途に施設の集約・整備を行い、地域内のごみを安定的・継続的に処理していく。

### イ. 事業系ごみの処理体制の現状と今後

事業系ごみについては事業者自ら適正に処理することを基本とする。事業者自ら適正に処理できない場合は、事業者自ら処理施設へ直接搬入、または構成各市の許可業者による収集を行うこととする。なお、処理施設への搬入を行う廃棄物の分別区分については、生活系ごみに準ずることとする。

また、事業系ごみについては、排出実態の把握を行い、多量排出事業者に対し、減量に関する計画の作成の指示・減量化及び資源化等に関する指導を行っていく。

### ウ. 生活排水処理の現状と今後

生活排水の処理については、引き続き、下水道や集落排水処理施設が整備されていない地域等で合併浄化槽の普及啓発活動を展開していく。

また、し尿及び浄化槽汚泥（集落排水からの汚泥を含む）については、南薩地区衛生管理組合が所有する「アクアセンター万之瀬」において処理を行っている。処理後の汚泥は可燃ごみ処理施設の助燃剤として資源化を行っており、今後も継続していく。

### エ. 今後の処理体制の要点

◇最も新しい既存の処理施設においても稼働後17年目を迎えていることから、令和6年度稼働開始を目途に施設の集約・整備を行い、地域内のごみを安定的・継続的に処理していく。

表3 南薩地域の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状(平成28年度)				推計(令和6年度)						
校崎市・南さつま市(坊津町地区)・南九州市(知覧町地区)				校崎市・南さつま市(坊津町地区)・南九州市(知覧町地区)						
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)			
燃えるごみ	焼却	内鍋清掃センター	9,032	燃えるごみ	焼却	内鍋清掃センター	7,658			
燃えないごみ	破碎・選別	内鍋清掃センター	3,179	燃えないごみ	破碎・選別	内鍋清掃センター	1,107			
粗大ごみ	破碎・選別	内鍋清掃センター		粗大ごみ	破碎・選別	内鍋清掃センター				
埋立てごみ	埋立	知覧最終処分場	20	埋立てごみ	埋立	南さつまクリーンセンター	91			
資源ごみ	リサイクル	内鍋清掃センター(売却)	缶類	飲料缶	選別・圧縮・一時保管	民間委託(売却)	49			
			空き缶	その他の缶	選別・圧縮・一時保管	民間委託(売却)	14			
			空きびん	生きびん	選別・一時保管	民間委託(売却)	24			
				無色透明のびん	選別・一時保管	民間委託(指定法人引取)	74			
				茶色のびん	選別・一時保管	民間委託(指定法人引取)	88			
				その他の色のびん	選別・一時保管	民間委託(指定法人引取)	20			
			ペットボトル	ペットボトル	選別・圧縮・梱包・一時保管	民間委託(指定法人引取)	59			
				その他プラスチック容器・包装類	選別・圧縮・梱包・一時保管	民間委託(売却)	17			
				白色トレイ・発泡スチロール	選別・熱減容・一時保管	民間委託(指定法人引取)	112			
				紙パック	(売却)	(売却)	5			
			紙類	ダンボール	(売却)	(売却)	108			
				新聞紙	(売却)	(売却)	281			
				雑誌類	(売却)	(売却)	185			
				その他の紙	(売却)	(売却)	69			
			布類	破碎	内鍋清掃センター	98	布	焼却(助燃剤)	(仮称)新ごみ処理施設	93
			草木	仮置き	知覧最終処分場	816	食用廃油	再資源化	民間委託	0
			資源・不適(焼却)	焼却	内鍋清掃センター	29	資源・不適(焼却)	焼却	(仮称)新ごみ処理施設	32
			合計			14,326	合計			10,054

現状(平成28年度)				推計(令和6年度)						
校崎市・南さつま市(坊津町地区)・南九州市(知覧町地区)				校崎市・南さつま市(坊津町地区)・南九州市(知覧町地区)						
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)			
燃えるごみ	焼却	(仮称)新ごみ処理施設	8,087	燃えるごみ	焼却	(仮称)新ごみ処理施設	6,650			
燃えないごみ	破碎・選別	(仮称)新ごみ処理施設	2,610	燃えないごみ	破碎・選別	(仮称)新ごみ処理施設	1,189			
粗大ごみ	破碎・選別	(仮称)新ごみ処理施設		粗大ごみ	破碎・選別	(仮称)新ごみ処理施設				
埋立てごみ	埋立	知覧最終処分場	16	埋立てごみ	埋立	南さつまクリーンセンター	98			
資源ごみ	リサイクル	内鍋清掃センター(売却)	缶類	飲料缶	選別・圧縮・一時保管	民間委託(売却)	47			
			空き缶	その他の缶	選別・圧縮・一時保管	民間委託(売却)	14			
			空きびん	生きびん	選別・一時保管	民間委託(売却)	23			
				無色透明のびん	選別・一時保管	民間委託(指定法人引取)	71			
				茶色のびん	選別・一時保管	民間委託(指定法人引取)	85			
				その他の色のびん	選別・一時保管	民間委託(指定法人引取)	19			
			ペットボトル	ペットボトル	選別・圧縮・梱包・一時保管	民間委託(指定法人引取)	57			
				その他プラスチック容器・包装類	選別・圧縮・梱包・一時保管	民間委託(売却)	16			
				白色トレイ・発泡スチロール	選別・熱減容・一時保管	民間委託(指定法人引取)	109			
				紙パック	(売却)	(売却)	5			
			紙類	ダンボール	(売却)	(売却)	104			
				新聞紙・チラシ	(売却)	(売却)	271			
				本・雑誌等	(売却)	(売却)	178			
				その他の紙	(売却)	(売却)	67			
			布類	焼却(助燃剤)	(仮称)新ごみ処理施設	108	布	焼却(助燃剤)	(仮称)新ごみ処理施設	90
			草木	焼却	(仮称)新ごみ処理施設	759	食用廃油	再資源化	民間委託	0
			資源・不適(焼却)	焼却	(仮称)新ごみ処理施設	32	資源・不適(焼却)	焼却	(仮称)新ごみ処理施設	32
			合計			12,881	合計			9,094

日置市				南九州市(川辺町地区)							
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)				
燃やせるごみ	焼却	日置市クリーン・リサイクルセンター	12,840	燃やすごみ	焼却	川辺清掃センター	2,970				
燃やせないごみ	破碎・選別	日置市クリーン・リサイクルセンター	742	燃やせないごみ	破碎	川辺清掃センター	59				
粗大ごみ	破碎	日置市クリーン・リサイクルセンター	225	可燃性粗大ごみ	破碎	川辺清掃センター(売却)	43				
資源ごみ	リサイクル	日置市クリーン・リサイクルセンター	不燃性粗大ごみ	不燃性粗大ごみ	破碎・選別	(仮称)新ごみ処理施設	74				
			空きかん	空きかん	選別・圧縮・一時保管	川辺清掃センター	230				
			空きびん	生きびん	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	17				
				無色透明のびん	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	4				
				茶色のびん	選別・一時保管	川辺清掃センター(指定法人引取)	32				
				その他の色のびん	選別・一時保管	川辺清掃センター(指定法人引取)	33				
			ペットボトル	ペットボトル	選別・圧縮・梱包・一時保管	川辺清掃センター(指定法人引取)	8				
				容器包装プラスチック	選別・圧縮・梱包・一時保管	民間委託(売却)	25				
				新聞紙・チラシ	選別・一時保管	民間委託(売却)	5				
				紙パック	選別・一時保管	民間委託(売却)	103				
			紙類	本・雑誌・包装紙・空き箱等	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	9				
				ダンボール	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	2				
				新聞紙・チラシ	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	78				
				雑誌等	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	81				
			その他	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	5					
			食用廃油	再資源化	日置市クリーン・リサイクルセンター	8	紙	新聞紙・チラシ	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	78
			小型家電	破碎・選別	日置市クリーン・リサイクルセンター	0	雑誌等	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	81	
			有害ごみ	(委託)	(委託)	16	その他	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	5	
火山灰	埋立	日置市クリーン・リサイクルセンター最終処分場	2	布	焼却(助燃剤)	川辺清掃センター	12				
合計			14,477	合計			3,848				

日置市				南九州市(川辺町地区)							
分別区分	処理方法	処理施設等	処理計画(トン)	分別区分	処理方法	処理施設等	処理計画(トン)				
燃やせるごみ	焼却	(仮称)新ごみ処理施設	12,126	燃やすごみ	焼却	(仮称)新ごみ処理施設	2,448				
燃やせないごみ	破碎・選別	(仮称)新ごみ処理施設	676	燃やせないごみ	破碎	(仮称)新ごみ処理施設	49				
粗大ごみ	破碎	(仮称)新ごみ処理施設	227	可燃性粗大ごみ	破碎	(仮称)新ごみ処理施設	35				
資源ごみ	リサイクル	日置市クリーン・リサイクルセンター	不燃性粗大ごみ	不燃性粗大ごみ	破碎・選別	(仮称)新ごみ処理施設	56				
			空きかん	空きかん	選別・圧縮・一時保管	川辺清掃センター	172				
			空きびん	生きびん	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	15				
				無色透明のびん	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	3				
				茶色のびん	選別・一時保管	川辺清掃センター(指定法人引取)	28				
				その他の色のびん	選別・一時保管	川辺清掃センター(指定法人引取)	29				
			ペットボトル	ペットボトル	選別・圧縮・梱包・一時保管	川辺清掃センター(指定法人引取)	7				
				容器包装プラスチック	選別・圧縮・梱包・一時保管	民間委託(売却)	22				
				新聞紙・チラシ	選別・一時保管	民間委託(売却)	4				
				紙パック	選別・一時保管	民間委託(売却)	89				
			紙類	本・雑誌・包装紙・空き箱等	選別・一時保管	(仮称)新ごみ処理施設、委託	8				
				ダンボール	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	2				
				新聞紙・チラシ	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	67				
				雑誌等	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	70				
			その他	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	4					
			食用廃油	再資源化	日置市クリーン・リサイクルセンター	7	紙	新聞紙・チラシ	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	67
			小型家電	破碎・選別	(仮称)新ごみ処理施設	0	雑誌等	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	70	
			有害ごみ	(委託)	(委託)	17	その他	選別・一時保管	川辺清掃センター(売却)	4	
火山灰	埋立	日置市クリーン・リサイクルセンター最終処分場	2	布	焼却(助燃剤)	(仮称)新ごみ処理施設	10				
合計			13,649	合計			3,168				

### (3) 処理施設等の整備

前述した(2)の処理体制で、本地域のごみを処理するために必要な施設を、表4に示す。

表4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	エネルギー回収型廃棄物処理施設	(仮称)新ごみ処理施設整備事業	145t/日	南さつま市金峰町高橋	R2~R5
2	マテリアルリサイクル推進施設	(仮称)新ごみ処理施設整備事業	16t/日	南さつま市金峰町高橋	R2~R5

※現有処理施設の概要を添付資料2に示す。

(整備理由)

事業番号1 既存施設の老朽化、処理の集約、エネルギー回収率の向上

事業番号2 既存施設の老朽化、処理の集約、資源化の促進

### (4) 施設整備に関する計画支援事業

前述した(3)の施設整備に先立ち、表5のとおり計画支援事業を実施する。

表5 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1)に係る施設整備基本計画策定事業	整備基本計画の策定	H30
	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1)に係る測量調査事業	測量調査	H30
	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1)に係る地質調査事業	地質調査	H30
	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1)に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H30~R1
	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1)に係る敷地造成基本計画・設計事業	敷地造成基本計画・設計	H30~R1
	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1)に係る発注仕様書等の作成発注支援	発注仕様書等の作成 発注支援	R1~R2

## (5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

### ア. 不法投棄対策

構成市・鹿児島県・鹿児島県警等の関係機関並びに、住民・事業者・各種団体等との連携を強化し、パトロールの実施等による不法投棄に対する監視及び追跡調査等の強化を行う。

不法投棄の防止について、住民一人一人が自覚するよう、衛生自治団体連合会・事業者・学校等と連携して、一斉清掃活動や環境美化月間運動の実施等により、啓発活動を強化する。

また、必要に応じて、ごみの不法投棄を禁止する看板等を設置する。

### イ. 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。

### ウ. 災害時の廃棄物処理に関する事項

構成市が策定する地域防災計画や災害廃棄物処理計画を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。

## 4. 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表する。

必要に応じて鹿児島県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

# 循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表 1

1 地域の概要

(1) 地域名	鹿児島県 南薩地域	(2) 地域内人口	130,423 人	(3) 地域面積	858.92 km <sup>2</sup>
(4) 構成市町村等名	鹿児島県 枕崎市、日置市、南さつま市、南九州市（知覧町及び川辺町の区域） ※但し、日置市（東市来町の区域）は焼却のみ対象	(5) 地域の要件*	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	南薩地区衛生管理組合 設立年月日：平成19年4月1日設立 組合を構成する市町村：枕崎市、日置市（吹上町、伊集院町及び日吉町の区域）、南さつま市、南九州市（知覧町及び川辺町の区域） ※但し、日置市のうち吹上町、伊集院町及び日吉町の区域は生活排水のみ対象 設立されていない場合、今後の見通し：（焼却）日置市については新ごみ処理施設整備後に組合処理区域に編入予定				

\*交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状（排出量等に対する割合）						目標
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	令和6年度
排出量	事業系 総排出量 (t)	15,147	12,833	13,220	13,748	14,576	14,939	12,758 (H28比 -14.6%)
	1事業所当たりの排出量 (t/事業所)	2.1	1.8	1.8	2.0	2.1	2.2	2.0
	生活系 総排出量 (t)	29,234	31,184	30,880	30,532	29,816	27,766	26,034 (H28比 -6.2%)
	1人当たりの排出量 (kg/人)	185	202	203	205	202	191	194
合計	事業系生活系の総排出量合計 (t)	44,381	44,017	44,100	44,280	44,392	42,705	38,792 (H28比 -9.2%)
再生利用量	直接資源化量 (t)	1,789 (4.0%)	1,697 (3.9%)	1,895 (4.3%)	1,666 (3.8%)	1,663 (3.7%)	1,590 (3.7%)	1,445 (3.7%)
	総資源化量 (t)	4,969 (11.2%)	6,519 (14.7%)	6,244 (14.2%)	5,817 (13.1%)	5,910 (13.3%)	5,718 (13.4%)	7,073 (18.2%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量 MWh）	/						検討中
減量化量	減量化量（中間処理前後の差 t）	32,670 (73.6%)	32,174 (73.1%)	32,370 (73.4%)	33,177 (74.9%)	33,009 (74.4%)	32,452 (76.0%)	30,287 (78.1%)
最終処分量	埋立最終処分量 (t)	6,742 (15.2%)	5,690 (12.9%)	5,486 (12.4%)	5,286 (11.9%)	5,473 (12.3%)	4,535 (10.6%)	1,432 (3.7%)

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。（添付資料4を参照）

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び 処理方式	補助の 有無	処理能力 (単位)	開始 年月	更新、廃止 予定年月	更新、廃止、 新設理由	型式及び 処理方式	施設竣工 予定年月	処理能力 (単位)	
EPR-回収 施設	南薩地区衛生 管理組合	[内鍋清掃センター] 全連続燃焼式流動床炉	有	112.5t/日	平成9年3月	令和6年4月廃 止	老朽化、集約				廃止
	南薩地区衛生 管理組合	[川辺清掃センター] 機械化バッチ式焼却炉	無	20t/日	平成6年4月	令和6年4月廃 止	老朽化、集約				廃止
	日置市	[日置市クリーン・リサイクルセンター] 准連続燃焼式ストーカ炉	有	81t/日	平成11年4月	令和6年4月廃 止	老朽化、集約				廃止
	南薩地区衛生 管理組合						集約	検討中	令和6年4月竣 工	145t/日	新設
廃棄物運搬 中継・中間 処理施設	南薩地区衛生 管理組合	[知覧中継場] ホッパ方式	有	30t/日	平成9年3月						継続利用
マテリアルリサイクル 推進施設	南薩地区衛生 管理組合	[内鍋清掃センター] 衝撃断式破砕機	有	20t/日	平成9年3月	令和6年4月 廃止	老朽化、集約				廃止
	南薩地区衛生 管理組合	[内鍋清掃センター] 二軸破砕機	有	10t/日	平成9年3月	令和6年4月 廃止	老朽化、集約				廃止
	南薩地区衛生 管理組合	[川辺清掃センター] 不燃物減容化設備 (回転ハマ打撃式破砕機)	無	5t/日	平成6年4月	令和6年4月 廃止	老朽化、集約				廃止
	日置市	[日置市クリーン・リサイクルセンター] 二軸破砕機、回転式破砕機	有	25t/日	平成11年4月	令和6年4月 廃止	老朽化、集約				廃止
	南薩地区衛生 管理組合						集約	検討中	令和6年4月 竣工	16t/日	新設
最終処分場	南薩地区衛生 管理組合	[南さつまクリーンセンター] 遮水+浸出水処理	有	65,000m <sup>3</sup>	平成10年4月						継続利用
	南薩地区衛生 管理組合	[知覧最終処分場] 遮水+浸出水処理	有	143,000m <sup>3</sup>	平成7年3月						継続利用
最終処分場	日置市	[日置市クリーン・リサイクルセンター] 遮水+浸出水処理	有	35,000m <sup>3</sup>	平成11年4月						継続利用
	南さつま市	[南さつま市加世田ごみ最終処分場] 遮水+浸出水処理	無	32,379m <sup>3</sup>	昭和62年4月						継続利用
	南さつま市	[南さつま市大浦ごみ最終処分場] 安定型	無	15,000m <sup>3</sup>	昭和47年10月						継続利用
汚泥再生処 理センター	南薩地区衛生 管理組合	[アケセンター万之瀬] 膜分離脱窒素処理方式+高度処理	有	240kl/日	平成28年4月						継続利用

※ 計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付する。（添付資料1を参照）

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位		過去の状況・現状（排出量等に対する割合）						目標
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	令和6年度
総人口		126,680	125,166	123,613	122,034	120,476	118,781	109,445
公共下水道	汚水衛生処理人口	29,663	30,939	31,418	32,404	31,843	32,865	36,375
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	23.4%	24.7%	25.4%	26.6%	26.4%	27.7%	33.2%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	3,342	3,271	4,079	3,999	3,939	3,846	4,146
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.6%	2.6%	3.3%	3.3%	3.3%	3.2%	3.8%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	35,070	37,011	44,764	39,062	43,506	46,537	33,236
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	27.7%	29.6%	36.2%	32.0%	36.1%	39.2%	30.4%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	58,605	53,945	43,352	46,569	41,188	35,533	35,688

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。（添付資料4を参照）

## 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模		事業期間 交付期間		総事業費 (千円)						交付対象事業費 (千円)						備考		
			単位		開始	終了	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			
○エネルギー回収等に関する事業							18,410,260	0	0	0	1,788,270	3,962,420	12,659,570	14,727,460	0	0	0	1,788,270	3,827,120	9,112,070	
(仮称)新ごみ処理施設整備事業	1	組合	145	t/日	R2	R5	18,410,260	0	0	0	1,788,270	3,962,420	12,659,570	14,727,460	0	0	0	1,788,270	3,827,120	9,112,070	
○再生利用に関する事業							3,630,000	0	0	0	167,200	1,636,800	1,826,000	3,608,000	0	0	0	167,200	1,636,800	1,804,000	
(仮称)新ごみ処理施設整備事業	2	組合	16	t/日	R2	R5	3,630,000	0	0	0	167,200	1,636,800	1,826,000	3,608,000	0	0	0	167,200	1,636,800	1,804,000	
○施設整備に関する計画支援に関する事業							176,000	92,000	65,500	18,500	0	0	0	176,000	92,000	65,500	18,500	0	0	0	
(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る施設整備基本計画策定事業	31	組合			H30	H30	16,000	16,000	0	0	0	0	0	16,000	16,000	0	0	0	0	0	
(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る測量調査事業	31	組合			H30	H30	5,000	5,000	0	0	0	0	0	5,000	5,000	0	0	0	0	0	
(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る地質調査事業	31	組合			H30	H30	10,000	10,000	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0	0	0	0	0	
(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る生活環境影響調査事業	31	組合			H30	R1	58,000	46,000	12,000	0	0	0	0	58,000	46,000	12,000	0	0	0	0	
(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る敷地造成基本計画・設計事業	31	組合			H30	R1	50,000	15,000	35,000	0	0	0	0	50,000	15,000	35,000	0	0	0	0	
(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る発注支援事業	31	組合			R1	R2	37,000	0	18,500	18,500	0	0	0	37,000	0	18,500	18,500	0	0	0	
<b>合 計</b>							<b>22,216,260</b>	<b>92,000</b>	<b>65,500</b>	<b>18,500</b>	<b>1,955,470</b>	<b>5,599,220</b>	<b>14,485,570</b>	<b>18,511,460</b>	<b>92,000</b>	<b>65,500</b>	<b>18,500</b>	<b>1,955,470</b>	<b>5,463,920</b>	<b>10,916,070</b>	



## 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金必要の要否	事業計画						備考	
					開始	終了		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみ処理手数料の見直し	必要に応じて手数料の見直しの実施。収集ごみの有料化等に関する調査・検討の実施。	組合 構成市	H 30	R5		見直し検討							
	12	環境教育、普及啓発	ごみの分別排出方法、ごみの排出量・資源化の現状などの情報提供の実施。環境教育の取組み。	組合 構成市	H 30	R5		継続実施							
	13	容器包装廃棄物の排出抑制	スーパーマーケット等での簡易包装の支援。マイバッグ運動の支援。	組合 構成市	H 30	R5		継続実施							
	14	生活排水の対策	広報活動、合併処理浄化槽の普及啓発活動、単独処理浄化槽からの転換、集合処理施設への接続の推進。	組合 構成市	H 30	R5		継続実施							
処理体制の構築、変更に関するもの	21	生活系ごみの処理体制の現状と今後	既存の処理施設の老朽化に伴う、施設の集約整備の実施。	組合 構成市	H 30	R5		継続実施							
	22	事業系ごみの処理体制の現状と今後	多量排出事業者に対する減量に関する計画作成の指示。減量化及び資源化等に関する指導。	組合 構成市	H 30	R5		継続実施							
	23	生活排水処理の現状と今後	合併処理浄化槽の普及啓発活動の展開。処理汚泥の資源化（助燃剤）の継続実施。	組合 構成市	H 30	R5		継続実施							
処理施設の整備に関するもの	1	(仮称)新ごみ処理施設整備事業	既存施設の老朽化に伴う処理の集約、エネルギー回収率の向上	組合	R2	R5	○							建設工事	
	2	(仮称)新ごみ処理施設整備事業	既存施設の老朽化に伴う処理の集約、資源化の推進	組合	R2	R5	○							建設工事	
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1及び2の計画支援	整備基本計画、測量調査、地質調査、生活環境影響調査、敷地造成基本計画、発注支援	組合	H 30	R2	○	整備基本計画 測量調査 地質調査 敷地造成基本計画・設計 生活環境影響調査	発注支援						
その他	41	不法投棄対策等の強化	不法投棄に対する監視及び追跡調査等の強化。啓発活動の強化。看板等の設置。	組合 構成市	H 30	R5		継続実施							
	42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	特定家庭用機器再商品化法に基づき、適切な回収、再商品化への普及啓発の実施。	組合 構成市	H 30	R5		継続実施							
	43	災害時における各所との連絡体制の構築	構成市が策定する地域防災計画や災害廃棄物処理計画を踏まえた、地域内及び周辺地域との連携体制の構築。	組合 構成市	H 30	R5		連携体制構築							

## 施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名

鹿児島県

(1) 事業主体名	南薩地区衛生管理組合
(2) 施設名称	(仮称)新ごみ処理施設整備事業
(3) 工期	令和2年度～令和5年度
(4) 施設規模	処理能力 16t/日
(5) 処理方式	検討中
(6) 地域計画内の役割	既設の老朽化及び集約のため
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
(8) 事業計画額	3,630,000千円

## 施設概要（エネルギー回収施設系）

都道府県名

鹿児島県

(1) 事業主体名	南薩地区衛生管理組合
(2) 施設名称	(仮称)新ごみ処理施設整備事業
(3) 工期	令和2年度～令和5年度
(4) 施設規模	処理能力 145t/日( 72.5t/24h×2炉)
(5) 形式及び処理方法	検討中
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> (発電効率 16.5%) ・ 無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> (熱回収率 %) ・ 無
(7) 地域計画内の役割	既設の老朽化及び集約のため
(8) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/>
(9) 事業計画額	18,410,260千円

## 計画支援概要

都道府県名

鹿児島県

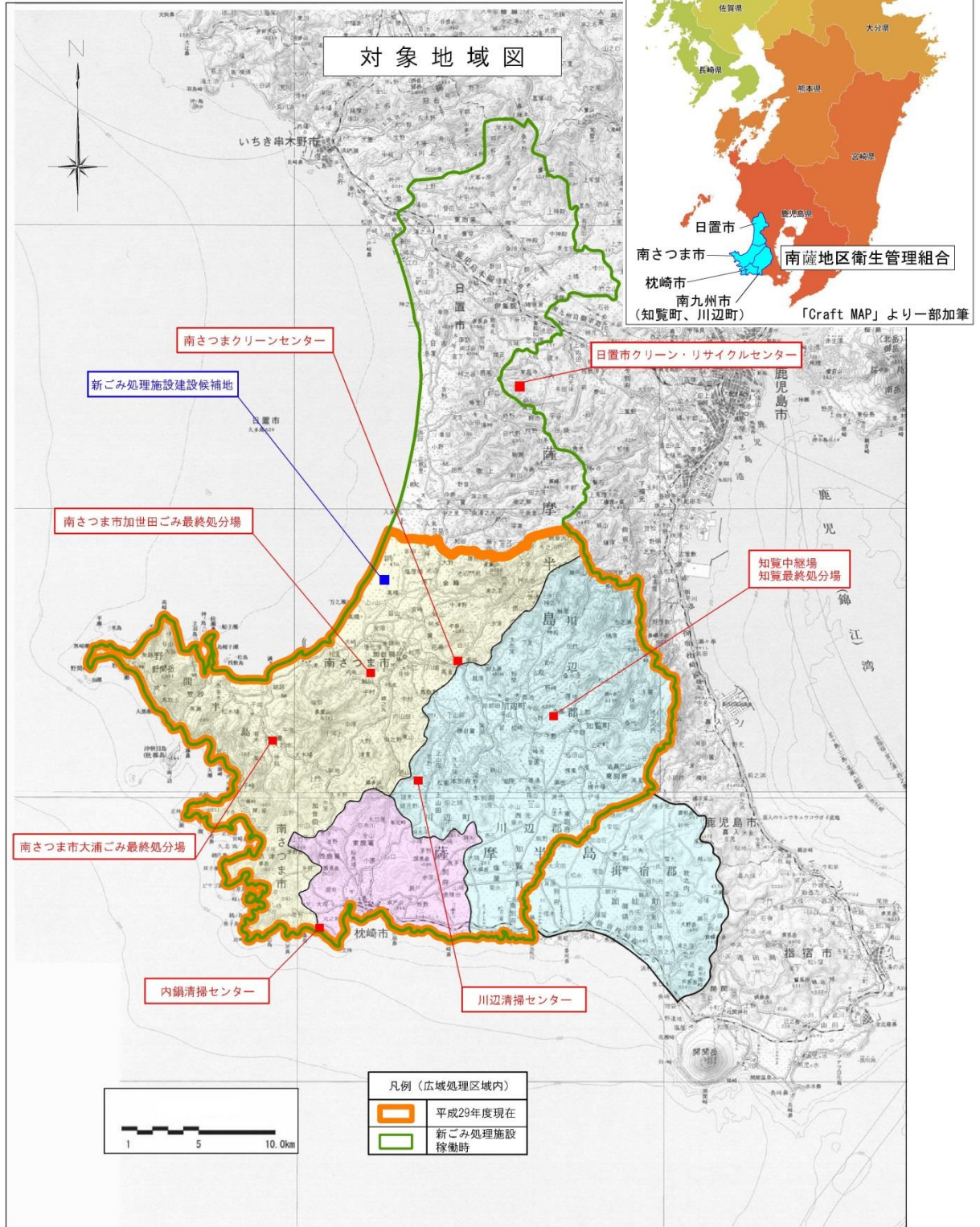
(1) 事業主体名	南薩地区衛生管理組合
(2) 事業目的	既存施設の老朽化に伴う集約のため

(3) 事業名称	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る施設整備基本計画策定事業	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る測量調査事業	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る地質調査事業
(4) 事業期間	平成30年度	平成30年度	平成30年度
(5) 事業概要	整備基本計画の策定	測量調査	地質調査
(6) 事業計画額	16,000千円	5,000千円	10,000千円

(3) 事業名称	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る生活環境影響調査事業	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る敷地造成基本計画・設計事業	(仮称)新ごみ処理施設整備事業(事業番号1及び2)に係る発注支援事業
(4) 事業期間	平成30年度～令和元年度	平成30年度～令和元年度	令和元年度～令和2年度
(5) 事業概要	生活環境影響調査	敷地造成基本計画・設計	発注仕様書等の作成 発注支援
(6) 事業計画額	58,000千円	50,000千円	37,000千円

■添付資料 1 地域と施設配置

(1) ごみ処理施設（中間処理施設、最終処分場等）







## ■添付資料2 現有処理施設の概要

### (1) 中間処理施設

施設名称	内鍋清掃センター		川辺清掃センター	
区分	焼却処理施設	粗大ごみ処理施設	焼却処理施設 (DXNs 無害化施設)	不燃物減容化設備
処理対象区域	枕崎市、南さつま市、南九州市知覧地域		南九州市川辺地域	
所在地	枕崎市火之神岬町		南九州市川辺町上山田	
処理能力	112.5 t/日 (56.25 t/24h×2 炉)	可燃性：10 t/日 不燃性：20 t/日	20 t/日 (10 t/8h×2 炉) (1.5 t/8h)	5 t/日
処理方式	全連続燃焼方式 (流動床)	破碎・選別・圧縮・保管	機械化バッチ方式 (ストーカ) (DCR 脱ハロゲン化工法)	破碎・選別・圧縮・保管
処理対象物	可燃・可燃残渣	不燃・粗大・ 資源(缶、布類)	可燃・可燃残渣 (焼却残渣)	不燃・粗大・資源
運転管理	組合直営、委託		組合直営	
敷地面積	16,399 m <sup>2</sup>		5,580.6 m <sup>2</sup>	
竣工年月	平成9年2月 (改造：平成14年3月)		平成6年3月 (平成14年12月)	

施設名称	日置市クリーン・リサイクルセンター		知覧中継場
区分	焼却処理施設	リサイクルプラザ	中継施設
処理対象区域	日置市		南九州市知覧地域
所在地	鹿児島市入佐町		南九州市知覧町郡
処理能力	81 t/日 (40.5 t/16h×2 炉)	25 t/日	30 t/日 (破碎機 10 t/日)
処理方式	准連続燃焼方式 (ストーカ)	破碎・選別・圧縮・保管	ホッパ直投式
処理対象物	可燃・可燃残渣	不燃・粗大・資源	可燃・不燃・粗大・資源
運転管理	日置市直営、委託		委託
敷地面積	16,950 m <sup>2</sup>		約 3,500 m <sup>2</sup>
竣工年月	平成11年3月		平成9年2月

施設名称	アクアセンター万之瀬	
区分	生活排水処理施設	
処理対象区域	枕崎市、日置市(吹上町、伊集院町及び日吉町の地域)、 南さつま市、南九州市(川辺町及び知覧町の地域)	
所在地	南さつま市加世田村原	
処理能力	240k1/日 (し尿 60k1/日 浄化槽汚泥 180k1/日)	
水処理方式	浄化槽汚泥混入比率の高い膜分離脱窒素処理方式及び高度処理	
汚泥処理	脱水→助燃剤化 ※ごみ焼却施設(内鍋清掃センター)へ搬出	
運転管理	組合直営、委託	
敷地面積	6,314 m <sup>2</sup>	
竣工年月	平成28年4月	

## (2) 最終処分場

施設名称	日置市クリーン・リサイクルセンター	南さつまクリーンセンター
処理対象区域	日置市	南さつま市（坊津除く）
所在地	鹿児島市入佐町	南さつま市金峰町花瀬
埋立面積	13,450 m <sup>2</sup>	7,100 m <sup>2</sup>
埋立容量	35,000 m <sup>3</sup>	65,000 m <sup>3</sup>
埋立対象物	溶融飛灰・溶融スラグ・ 選別不燃残渣・焼却鉄残渣	不燃・焼却残渣・破碎処理残渣
種 類	オープン型	オープン型
遮水工	2重遮水シート	底部及び最下段法面：2重遮水シート その他法面部：1重遮水シート
処理施設	有（処理水は焼却施設で再利用）	有
処理方式	生物処理＋凝集沈殿＋高度処理＋消毒	Ca除去＋生物処理＋凝集沈殿＋高度処理＋消毒
処理規模	50 m <sup>3</sup> /日	60 m <sup>3</sup> /日
残余容量 (H27年度末)	25,092 m <sup>3</sup>	23,695 m <sup>3</sup>
運転管理	日置市直営	委 託
埋立開始	平成11年4月	平成10年4月

施設名称	加世田ごみ最終処分場	大浦ごみ最終処分場	知覧最終処分場
処理対象区域	南さつま市（坊津除く）	南さつま市（坊津除く）	枕崎市、南さつま市（坊津）、南 九州市知覧地域
所在地	南さつま市加世田武田	南さつま市大浦町	南九州市知覧町郡
埋立面積	6,808 m <sup>2</sup>	1,500 m <sup>2</sup>	17,000 m <sup>2</sup>
埋立容量	管理型：17,950 m <sup>3</sup> 安定型：14,429 m <sup>3</sup>	15,000 m <sup>3</sup>	143,000 m <sup>3</sup>
埋立対象物	直接最終処分ごみ	直接最終処分ごみ	不燃・焼却残渣・ 破碎処理残渣
種 類	オープン型	オープン型	オープン型
遮水工	有	無	有
処理施設	有	無	有
処理方式	生物処理＋凝集沈殿＋消毒	－	生物処理＋凝集沈殿 ＋消毒
処理規模	平均21 m <sup>3</sup> /日、最大85 m <sup>3</sup> /日	－	60 m <sup>3</sup> /日
残余容量 (H27年度末)	管理型：4,478 m <sup>3</sup> 安定型：8,341 m <sup>3</sup>	4,465 m <sup>3</sup>	76,755 m <sup>3</sup>
運転管理	南さつま市直営	南さつま市直営	委 託
埋立開始	昭和62年4月	昭和47年10月	平成7年3月



■添付資料3 分別区分説明資料

＜収集方式等の状況＞

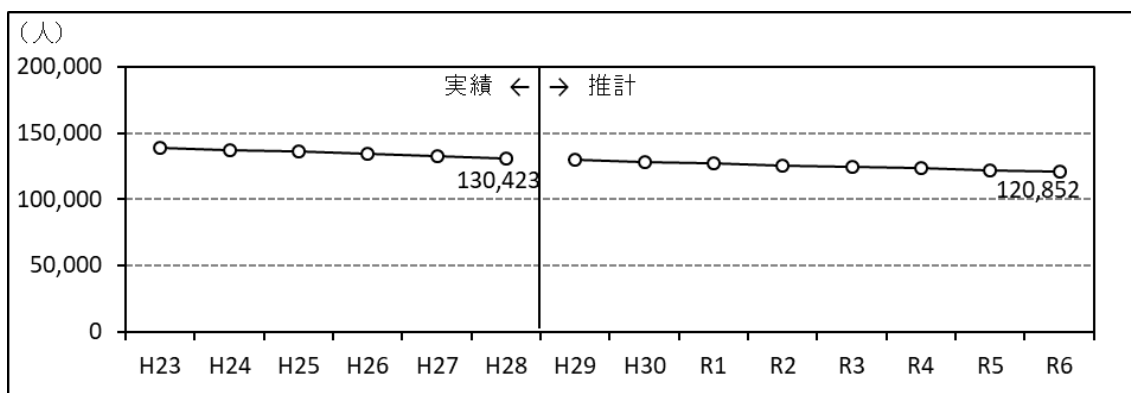
区 分		枕崎市	日置市	南さつま市		南九州市		
				坊津町	坊津町以外	川辺町	知覧町	
収集方式	生活系	ステーション	ステーション (粗大：戸別)	ステーション	ステーション	ステーション	ステーション	
	事業系	戸別	戸別	戸別	戸別	戸別	戸別	
収集回数	可燃ごみ	3回/週	2回/週	3回/週	2回/週	2回/週	2回/週	
	不燃ごみ	1回/週	1回/月	1回/週	1回/月	1回/月	1回/週	
	資源ごみ	1回/週	2回/週	1回/週	1回/月	1回/月	4回/月	
	粗大ごみ	—	1回/月	—	1回/月 (大浦、笠沙)	2回/年	指定日	
	有害ごみ	(資源ごみ)	2回/年	(資源ごみ)	1回/週	1回/月	(不燃ごみ)	
小型家電	(不燃ごみ)	回収BOX	(不燃ごみ)	(不燃ごみ)	(不燃ごみ)	(不燃ごみ)		
排出容器	可燃ごみ	指定袋(緑、記名)	指定袋(赤字)	指定袋(緑)	指定袋(青)	指定袋(記名)	指定袋(緑)	
	不燃ごみ	指定袋(赤、記名)	指定袋(黒字)	指定袋(赤)	指定袋(赤)	指定袋(記名)	指定袋(赤)	
	資源ごみ	指定袋(黄、記名)	指定袋(青字) (古紙：紙ひも可)	指定袋(黄)	コンテナ・網ネット ポリタンク・紙ひも等	コンテナ・網ネット シート・紐綴じ等	指定袋(黄) 紐綴じ	
	粗大ごみ	(直接持込)	(申込制/直接持込)	(直接持込)	(直接持込)	(直接持込)	(直接持込)	
	有害ごみ	指定袋(黄、記名)	指定袋(黒字)	指定袋(黄)	コンテナ	コンテナ	指定袋	
小型家電	指定袋(赤、記名)	指定袋/回収BOX	指定袋(赤)	指定袋(赤)	コンテナ	指定袋(赤)		
指定袋料金	可燃ごみ	特大	—	30 円/袋	—	—	—	
		大	17 円/袋	25 円/袋	18.0 円/袋	19.55 円/袋	21 円/袋	18 円/袋
		中	10 円/袋	—	11.3 円/袋	—	13 円/袋	12 円/袋
		小	9 円/袋	15 円/袋	10.3 円/袋	12.35 円/袋	12 円/袋	10 円/袋
	不燃ごみ	大	19 円/袋	25 円/袋	20.6 円/袋	22.70 円/袋	21 円/袋	21 円/袋
		中	10 円/袋	—	11.3 円/袋	—	13 円/袋	11 円/袋
		小	9 円/袋	15 円/袋	10.3 円/袋	12.35 円/袋	12 円/袋	10 円/袋
	資源ごみ	大	19 円/袋	25 円/袋	20.6 円/袋	—	21 円/袋	20 円/袋
		中	10 円/袋	15 円/袋	11.3 円/袋	—	13 円/袋	11.5 円/袋
		小	9 円/袋	—	10.3 円/袋	—	12 円/袋	10 円/袋
特小	—	10 円/袋	—	—	—	—		
収集体制	生活系	委託	委託	委託	委託	委託	委託	
	事業系	許可	許可	許可	許可	許可	許可	
直接搬入料金 (家庭)	可燃ごみ	無 料	90円/10kg	無 料	200円/250kg (+200円/250kg)	無 料	無 料	
	不燃ごみ		100円/10kg		※リ-ンターへの 不燃ごみ無料			
	粗大ごみ		620円/10kg (+100円/10kg)					
	資源ごみ		100円/10kg					無 料
直接搬入料金 (事業)	可燃ごみ	500円/250kg (+500円/250kg)	90円/10kg	500円/250kg (+500円/250kg)	RC:700円/250kg (+700円/250kg)	500円/250kg (+500円/250kg)	500円/250kg (+500円/250kg)	
	不燃・資源ごみ		100円/10kg		CC:100円/10kg			
	粗大ごみ							布：50円/kg その他：無料
	資源ごみ							

<分別収集区分>

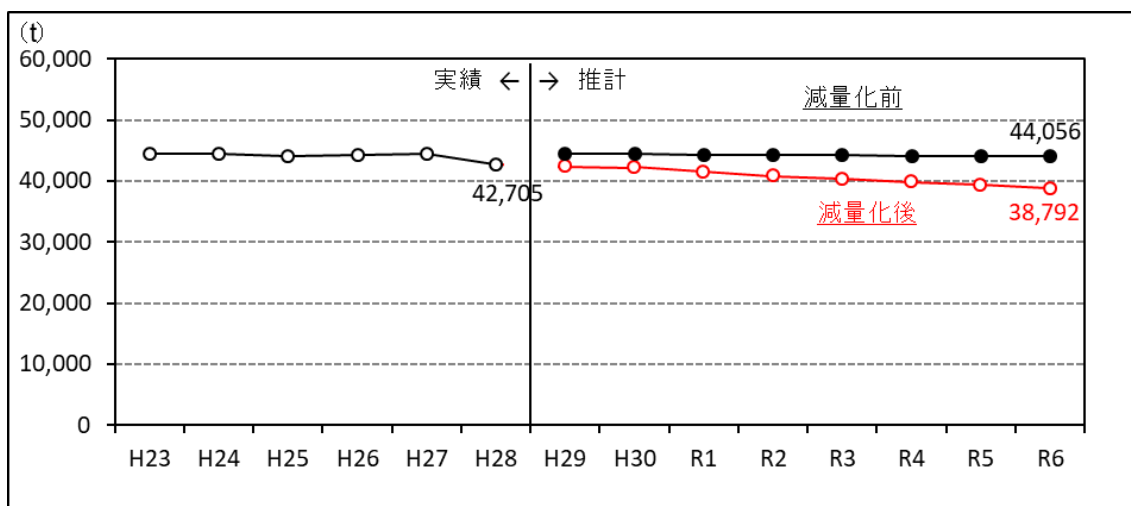
区 分		枕崎市	日置市	南さつま市		南九州市	
				坊津町	坊津町以外	川辺町	知覧町
燃えるごみ	生ごみ類	○	○	○	○	○	○
	紙くず類	○	○	○	○	○	○
	チューブ類	○	○	○	○	資源(マーク有)	○
	木くず	○	○	○	不燃	○	○
	下着類・靴下	○	○	○	○	○	○
	紙おむつ	○	○	○	○	○	○
	CD、バケツ等のプラ類	不燃	○	不燃	不燃	○	不燃
燃えないごみ	金物類	○	○	○	○	○	○
	ガラス類	○	○	○	○	○	○
	陶磁器類	○	○	○	○	○	○
	ゴム類	○	可燃	○	○	可燃	○
	プラ類	○	可燃	○	○	資源	○
危険物	スプレー缶	○	○	○	○	不燃	○
	蛍光灯	不燃	○	不燃	不燃	○	不燃
	電球	不燃	○	不燃	不燃	不燃	不燃
	乾電池・ボタン型電池	○	○	○	○	○	○
	水銀製体温計	不燃	○	不燃	不燃	○	不燃
	ライター(使用済)	○	可燃	○	○	可燃	○
資源ごみ	スチール缶	○	○	○	○	○	○
	アルミ缶	○	○	○	○	○	○
	新聞紙類	○	○	○	○	○	○
	雑誌類	○	○	○	○	○	○
	段ボール類	○	○	○	○	○	○
	紙パック類	○	○	○	○	○	○
	その他紙類	○	○	○	○	○	○
	透明びん	○	○	○	○	○	○
	茶色びん	○	○	○	○	○	○
	その他びん	○	○	○	○	○	○
	ペットボトル	○	○	○	○	○	○
	プラ容器・包装類	○	○	○	○	○	○
	白色トレイ	○	○	○	○	○	○
	白色発泡スチロール	○	○	○	○	○	○
	布類	○	可燃	○	○	○	○
食用油	可燃	○	可燃	○(加世田)	可燃	可燃	
小型家電	不燃	○	不燃	不燃	不燃	不燃	

■添付資料4 人口及びごみ排出量等に関するトレンドグラフ等

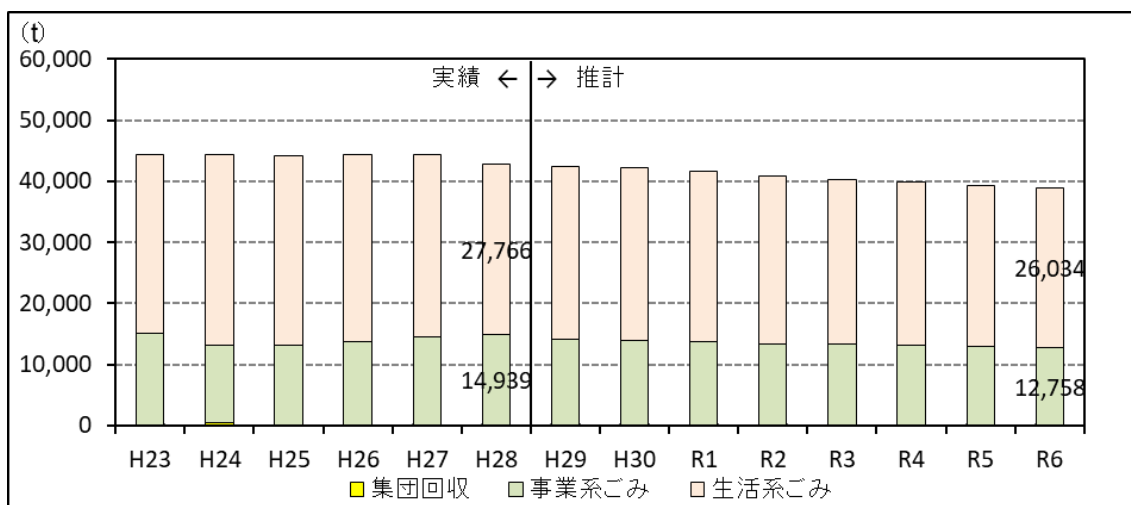
<人口の推移>



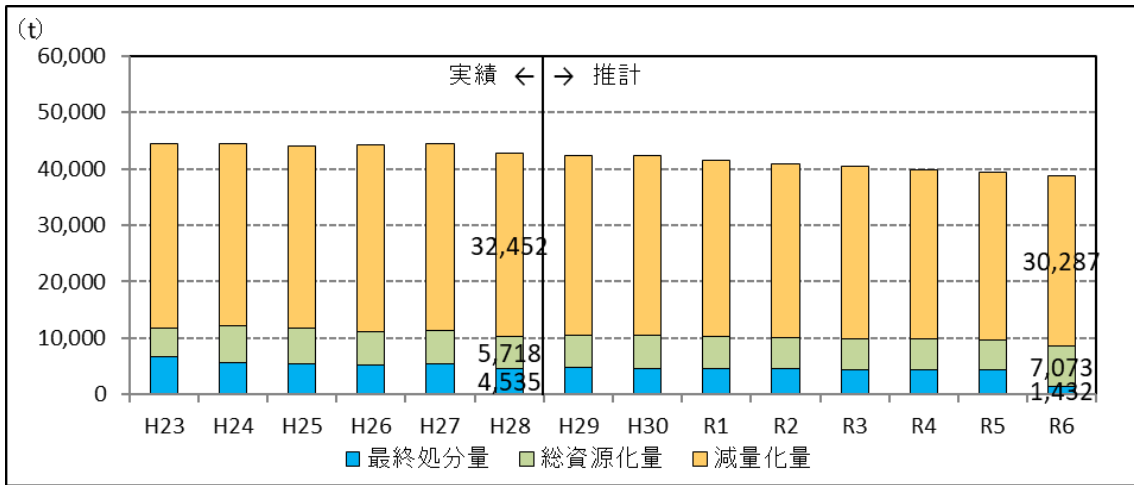
<排出量の推移（減量化前と減量化後）>



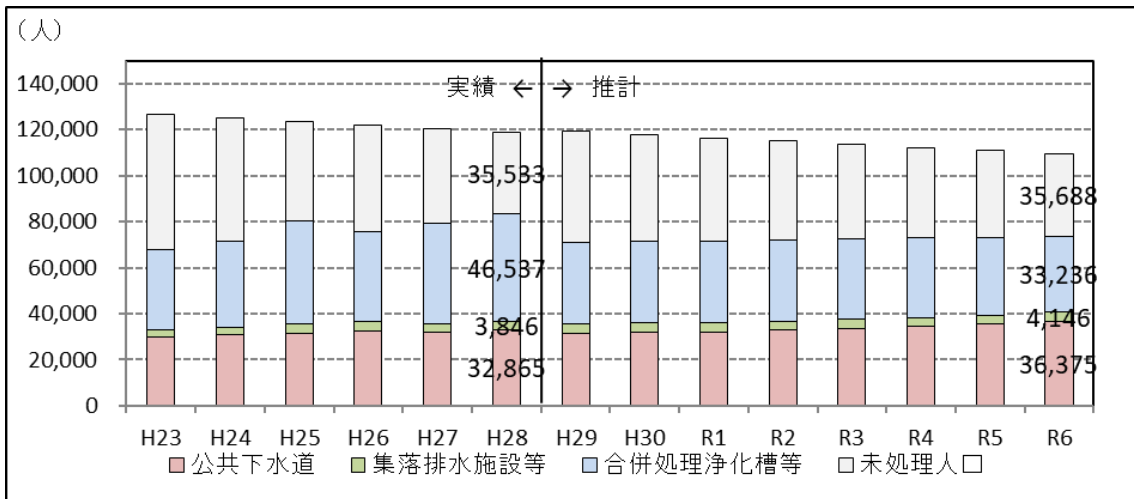
<排出量の推移（内訳）>



<処理量の推移>



<生活排水処理人口の推移>



<汚泥処理量の推移>

